

### ▶ 会員一覧

#### 団体会員(順不同)

亀山市  
 亀山市議会  
 亀山市教育委員会  
 亀山市農業委員会  
 亀山市自治会連合会  
 亀山ライオンズクラブ  
 亀山ロータリークラブ  
 亀山商工会議所  
 (一社)亀山青年会議所  
 亀山青年会議所シニアクラブ  
 鈴鹿農業協同組合亀山地区  
 三重茶業協同組合  
 亀山市婦人会連絡協議会  
 亀山地区労センター  
 鉄道OB会亀山支部  
 (一社)亀山市観光協会  
 鈴鹿森林組合  
 (一社)三重県建設業協会亀山支部  
 亀山地区労働者福祉協議会

[19団体]

#### 企業会員(五十音順)

(株)安全  
 (有)いとう弁当  
 (株)エイチワン亀山製作所  
 NTNアドバンストマテリアルズ(株)  
 カメヤマ(株)  
 亀山瓦斯(有)  
 亀山急送(株)  
 (株)亀山ショッピングセンター  
 亀山製絲(株)  
 岸牛乳店  
 北伊勢上野信用金庫亀山支店  
 協同油脂(株)亀山工場  
 高圧昭和ボンベ(株)  
 好福堂  
 (有)小菅金物  
 (株)三扇  
 (株)ジェイテクト亀山工場  
 島内建設(株)  
 シャープ(株) 亀山事業所  
 昭和ボックス(株) 亀山工場  
 白川建設(株)  
 (有)シラカワ  
 鈴鹿インター(株)  
 (株)スチールセンター亀山事業所  
 (株)ストーリー 亀山ストーリーホテル  
 (株)セキデン  
 (株)大紀アルミニウム工業所亀山工場  
 (株)第三銀行亀山支店  
 (株)タクティー亀山物流センター

田島シルク(株)  
 中日運輸(株)  
 中部電力(株)鈴鹿営業所  
 東海労働金庫亀山支店  
 東洋電装(株)亀山工場  
 (株)栃木屋  
 (株)長田建材店  
 (有)ニシムラ  
 日東電工(株)亀山事業所  
 パナック(株)亀山工場  
 (株)百五銀行亀山支店  
 (株)ブラザチェーン  
 古河電気工業(株) 三重事業所  
 堀田建設(株)  
 (株)ホンダオート三重亀山店  
 マルミ化粧品店  
 (株)三重銀行亀山支店  
 三星電機商会  
 (株)ミヤガク中京(カメヤマドライバースクール)  
 (株)宮長  
 (有)むかい  
 (株)村山ガス  
 (有)保田ガラス店  
 柳河精機(株)亀山工場  
 山川運輸(株)  
 (株)ヤマシタコーポレーション三重事業所  
 (株)米津グリーンメンテ  
 リケンテクノス(株)三重工場  
 (株)菱電三重製作所

[58社]

### 担当コラム

昨年6月に「リニア大阪延伸 最大8年前倒し」と新聞に大きく掲載された国を挙げてのリニア中央新幹線早期開業の支援表明のニュースは、私たち担当者をびっくりさせるとともに、とても心強く、嬉しい知らせとなりました。遠い先の夢の話だと思っていたリニアがぐんと近づいてきたのです。学習会やブース出展に参加してくれた子どもたちも「リニアでどこへ行こうかな。」とリニアの開通がまるで明日のことのように話を弾ませており、リニアの開通を楽しみにしている様子でした。品川・名古屋間の工事の状況や名古屋・大阪間の開業前倒しに関する事など、リニア中央新幹線の動向には今後も目が離せません。皆様には、より身近に感じ、興味を持っていただけるように、今後も様々な活動に取り組んでいきますので、これからもご支援・ご協力をお願いいたします。

発行者:リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議  
 編集:リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議事務局(亀山市企画総務部企画政策室内) 〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地  
 TEL:0595-84-5123 FAX:0595-82-9685 E-mail:kikaku@city.kameyama.mie.jp



リニア・鉄道親子学習会

### 会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井 義之

陽春の候、市民の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、昨年は2027年の品川・名古屋間の開業に向けての工事が各地でスタートした年でありました。品川駅工事が1月に始まり、その後順次、名古屋市内の非常口工事や南アルプストンネル長野工区の工事、そして、12月には私たちにも身近な駅である名古屋駅の工事が開始されました。また、昨夏には、政府からリニア中央新幹線の品川・大阪間の全線早期開業に向けた支援表明がなされ、現在、全線開業を8年間前倒しするための財政的支援が行われています。リニア中央新幹線の整備は、国家プロジェクトとして、着実に、そして、力強く前進しています。リニア中央新幹線全線開業の8年間前倒しが実現すれば、名古屋・大阪間の開業は2037年、約20年後となります。まさに「夢」から「現実」への新たなステージの段階にきています。

こうした中、当市民会議といたしましても、昨年11月に新名神高速道路の側道に設置してありますPR看板をリニューアルし、県内外へ、リニア中央新幹線亀山駅の実現をアピールするとともに、リニア・鉄道親子学習会の開催や科学の祭典を通じて、次世代を担う子ども達が親子で楽しみながらリニアの仕組みを学習する機会を提供するなど、幅広い活動を精力的に展開しております。

当市民会議では、引き続き、発足当初からの目的である関西本線、紀勢本線の利便性向上とリニア中央新幹線の全線早期開業、「リニア亀山駅」の実現に向け、関係機関と一致団結し、強力な推進活動を行ってまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## リニア中央新幹線の概要

リニア中央新幹線は、東京から大阪までの約438kmを、わが国独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線です。

世界でも有数の人口集積地域である三大都市圏を、超電導リニアにより新しいルートで結ぶリニア中央新幹線は沿線地域のみならず国全体に活力をもたらす国家プロジェクトです。

リニア中央新幹線が開業すれば、東京・名古屋間を40分、東京・大阪間を67分で移動することができます。それは、単なる経済波及効果に留まらず、国土の構造を変え、日本の国際競争力を強化し、日本人のライフスタイルをも変えるきっかけとなることが期待されています。

中央新幹線の整備計画

建設線	中央新幹線
区間	東京都・大阪市
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505km/時
建設費	9兆300億円

※平成23年5月 国土交通大臣決定

## リニア中央新幹線の現状

2027年に先行開業を目指すリニア中央新幹線の品川・名古屋間において、平成26年10月17日、JR東海は国土交通省から工事実施計画の認可を受け、同年12月17日に工事を着工しました。平成27年12月には、品川・名古屋間の工事で最難関とされる南アルプスを貫く山梨県側のトンネル工事が開始され、その後順次、発着駅となる品川駅の工事や南アルプストンネルの長野県側の工事、名古屋駅の工事などが開始されています。

また、国においても、2045年開業予定としていた名古屋・大阪間の8年間前倒しの開業に向け、平成28年11月に鉄道運輸機構法を改正し、財政投融资の活用による財政的支援を行っています。

リニア中央新幹線の品川・名古屋間の工事が着実に進むとともに、名古屋・大阪間の早期の工事着工に向けても大きく動き出しました。



## リニア停車駅はこんなところ

リニア停車駅を 亀山へ

品川 ← 神奈川県駅 ← 山梨県駅 ← 長野県駅 ← 岐阜県駅 ← 名古屋

**品川区**  
(品川駅地下)

東京湾に面した臨海部と山の手に連なる台地からなり、古くから交通、交易の拠点として栄え、考古学発祥の地としての有名な大森貝塚など歴史に名を残す史跡も数多くあります。江戸時代には東海道第一の宿として賑わい、明治時代に入ってから、京浜工業地帯発祥の地として発展してきました。

観光: 品川水族館、屋形船  
人口: 382,761人 (H29.1.1)



**相模原市**  
(相模原市橋本駅付近)

首都圏西部の玄関口として、さまざまな圏域からの交通網が交差する広域交流拠点都市です。近年は圏央道が開通し、小田急多摩線延伸の構想も進んでいます。また、JAXAの相模原キャンパスがあり、小惑星探査機「はやぶさ」はこのキャンパスで生まれました。市内には、リニア停車駅以外に関東車両基地が設置される計画です。


観光: 相模湖、相模原市役所さくら通り  
人口: 721,477人 (H29.1.1)



**甲府市**  
(大津町付近)

山梨県のほぼ中央に位置し、市内一円からは北に八ヶ岳、南に富士山、西に南アルプス連峰を望み、観光地として有名な国内屈指の深谷美を誇る御岳昇仙峡や芦川深谷といった豊かな自然に恵まれています。また、武田信玄をはじめとした、戦国武将ゆかりの名所が多数あります。

観光: 昇仙峡、武田神社  
名物: 甲州ワイン、ほうとう  
人口: 191,675人 (H29.1.1)



**飯田市**  
(上郷飯沼付近)

長野県の最南端に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスがそびえ、南北に天竜川が貫く日本一の谷地形が広がり、豊かな自然と優れた景観、四季の変化に富み、動植物の南北限という気候風土に恵まれています。近年は、体験教育旅行や、銘桜を巡る桜守の旅、グリーンツーリズム・エコツーリズムなども全国から注目されています。

観光: 天竜川川下り、元善光寺  
名物: 市田柿、りんご、なし  
人口: 103,494人 (H28.12.31)



**中津川市**  
(JR中央本線美乃坂駅に近接)

岐阜県の東南端に位置し、東は木曾山脈、南は三河高原に囲まれ、中央を木曾川が流れる自然豊かなまちです。古から、東山道、中山道、飛騨街道などの交通の要衝として栄え、今も昔のまち並みを残している馬籠宿は、多くの人が訪れます。市内には、リニア停車駅以外に中部総合車両基地が設置される計画です。


観光: 中山道、馬籠宿  
名物: 栗きんとん、五平もち  
人口: 80,289人 (H28.12.31)



**名古屋市**  
(名古屋駅地下)

日本のほぼ中央に位置し、中部地方の政治・経済・文化の中枢都市です。熱田神宮や織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三英傑、尾張徳川家に代表される歴史や文化は、名古屋の魅力や活力の礎となっています。

観光: 名古屋城、東山公園、リニア鉄道館  
名物: みそかつ、手羽先、ひつまぶしなどの「なごやめし」  
人口: 2,307,307人 (H29.1.1)



## リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議とは

当市民会議は、昭和42年5月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成4年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成13年から平成18年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA～新たなステージ、夢から現実へ!!～」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山を中心とした複線電化の促進を目指し、関係機関と連携した強力な推進運動を展開していきます。

年 表	
昭和42年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和62年	国鉄の民営化に伴い、「JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成4年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成6年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成13年	市民対象のリニア試乗会を開始（～平成18年）
平成21年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

## 平成28年度の活動状況

### ▶ 総会・講演会 7月19日(火)

亀山市文化会館において、平成28年度の総会を開催しました。総会では、昨年度の事業報告や平成28年度の事業計画が承認されました。

総会終了後は、国土交通省中部地方整備局企画部の事業調整官尾出清氏を講師としてお招きし、「中部圏広域地方計画とリニア計画」と題し、ご講演をいただきました。



総会

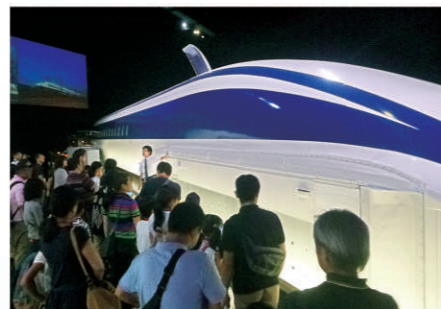
### ▶ リニア・鉄道親子学習会 8月20日(土)

今回の親子学習会は、60名の申し込みの中から抽選で20組40名の方に参加いただき、名古屋市のリニア・鉄道館と電気の科学館を訪れました。

リニア・鉄道館では施設のスタッフによる超電導リニアの仕組みの説明を聞いた後、車両の見学や鉄道の歴史を学び、電気の科学館では、電気や磁力について実験道具を使って体験しました。親子で一緒に見て触れて、楽しみながら学習する機会となりました。



学習風景



車両見学



電気の科学館

### ▶ 青少年のための科学の祭典 11月12日(土)

青少年のための科学の祭典において、工作ブース「木製リニアカーをつくってみよう!!」を出展しました。

今年も大勢の家族連れで賑わい、模型の展示や木製リニアカーの作成を通して磁力による超電導リニアの浮上の原理を楽しみながら学ぶことができました。



木製リニアカー



作成風景

## ▶ 中央要望 2月16日(木)・17日(金)

リニア中央新幹線の市内停車駅誘致、複線電化の促進を求め、国や関係機関に対して要望活動を実施しました。

### 〈要望内容〉

- リニア中央新幹線
  - ・三重・奈良ルートによる全線早期開業
  - ・亀山市への停車駅の決定 など
- 複線電化
  - ・亀山駅を中心とした複線電化の早期着手
  - ・IC乗車券サービスの利用可能エリアの拡大 など



要望活動

## ▶ PR活動

より多くの市民の方に、当市民会議の活動を理解いただくため、市のイベント等でのPRグッズの配布や、PRカレンダー、会報誌を発行し、関係施設への配布・設置等を行うなど、様々なPR活動を行っています。

### 【市内にあるPR看板】



オリジナル総会記念品(サーモマグカップ)を作成しました。



毎年好評のPRカレンダー  
2017年は市内の四季をテーマに作成

## 複線電化について ～もっと乗って!もっと便利に!～

関西本線は、昭和57年に名古屋・亀山間が電化され、それ以降、一部区間で複線化されるなど利便性の向上が図られてきました。現在、通勤時間帯で最大1時間4便が運行され、快速列車の運行により乗車時間が約1時間に短縮されています。

また、紀勢本線については、平成27年から新型車両(キハ25形)が導入され、バリアフリーや乗り心地に配慮した車両となり、車内環境が大幅に改善しました。

しかし、依然として、当市民会議の目指す名古屋・亀山間の単線区間における複線化及び亀山・木津間、亀山・新宮間の複線電化の実現には至っていません。

複線電化の実現や、在来各線の利便性の維持・向上には、より多くの方に鉄道を利用していただくことが大切です。当市民会議では、「もっと乗って!もっと便利に!」を合言葉に、鉄道利用の促進を図り、JRの利便性の向上に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

